



年頭の辭

社長 古野伊之助

必勝の信念把握

こゝに諸君とともに大東亞戰下第二の新春を迎ふるに當つて一言所感を申し上げます。過ぎ去つた一年は米英撃滅の地盤を確保する年であつたと思ひます。しかしして来るべき一年はいよいよこの決戦に起ち上る年であると思はれる。

丁度昨年の新春は雄渾無比な作戦に神速果敢の行動が皇軍將兵の活躍によつて開始された、そのさなかに新春を迎へた。しかるに過去一年の間に英米の各國が數百年にわたつて築き上げた東亞侵略の地盤を全部覆して南方至るところこの侵略の足場は今日悉く日本民族が中心になつて東亞全領域を防御すべき據點と變つてをります。

その作戦の構想が雄渾無比であり、その作戦行動が神速果敢であつたこと、世界の戦史にその類を見ない。今日この戦闘の跡を辿つて見て、皇軍將兵の働きの如何にも絶大であつたことを思はせられるのであります。しかししてこの南西太平洋の中樞に散在する諸島の撤定成つた今日全世界が總立ちに起ち上るとも、必ずこれを撃滅し得る難攻不陥不敗の軍事的立場が確保された。

日本民族の決意

英米の批評家が世界の寶庫と稱する南洋の各資源は今日日本民族の開發を待つのみであります。戦力の増強が頻りに叫ばれてをりますが、この軍事的據點、經濟的資源等を確保し得た日本民族は、何十年にわたる長期戦に對しても斷乎として戦ひ抜き、勝ち抜き得る地盤をしつかりと握り得たのである。われわれはこの信念をあぐまて把握しなければならぬと考へる。

この確乎不動の日本民族の決意に對して敵米英は或はソロモン、ニューギニア、或はアリューシャン、或は支那大陸をそれぞれ足場として積極果敢なる反撃作戦に移つて来ることは御承知の通りである。將に來るべき一年は過ぎ去つた一年に確保し得た地盤を根據にその雄雄を争ふ重大なる年であると思ひます。

四千同志の敢闘

かゝる世界の情勢、日本の立場を背景として、われわれ同盟四千の同志はよく闘つてまゐりました。或は南方の各地に、歐米の各地に支那大陸に、内地の津々浦々にそれぞれ部署を護つてその職責に盡瘁してまゐつたのであります。或る者は現に戦場に瘞れたものも

あり、また色々の病魔に冒されてあらゆる苦痛と戦つてゐるものもある。前線の將兵と變りない勞苦を冒して戰場を疾驅してその職責を果した諸君もある。この四千の同志それぞれ所を異にし、時を別にしながらも、ただ報道報國の大使命に歸して、過去一年奮闘努力してまゐりました。

私は常々諸君に申述べてゐる通り、わが帝國の國內、國外思想戦の中樞機構として、われわれ四千の同志の双肩に擔ひ責任はいよいよ重大を加へ來つたのであります。總理大臣の聲明も、大本營の發表も、報道部長の談話も、新聞の論

號四十六第
月一年八十和昭
行發日十
行發日十・回一月毎
錢五部一價定
錢十六(共稅)分年一
一才 田杉 人認行發
國公谷比日區町總市京東
社信通盟同 所行發
東 東 108

祝辭

皇紀二千六百三年、康徳十年の新春を迎ふるに當り國通一千の社員を代表し謹んで新年の祝辭を呈す。

大東亞戰爭第三年、大東亞共榮具現のため我等一千國通社員は、北方防衛宣傳陣の中核として茲に新たなる決意を以て職域奉公を誓ふ。

敬愛する同盟同人諸兄、我等は諸兄の絶大なる御支援御協力を得て一路報道報國に邁進せんことを期す。

康徳十年元旦

滿洲國通信社

理事長 松方義三郎

調も同盟の國內國外通信網を通じて、これを徹底せざる限り、どうしてこれが國民の意識となり、世界の輿論となり得るのであるか。この點は始終諸君は繰返し考へて戴きたい。新聞に日本の活字で書いて見たり、ラジオの放送によつて或は日本語、或は外國語で語つてみたり、それで國の眞意が世界に徹底したり、國民に傳はると

本社新年互禮會

本社新年互禮會は元日午前八時五十分より編輯室に於て左記次第により嚴肅に執行された。別項の社長年頭の辭は恒例により専用電話線を通じて各支社局のスピーカに増幅中繼された。

△次第
一、開會

- 一、敬禮
- 一、宮城遙拜
- 一、出征將兵の武運長久並に戦歿將兵の英靈に感謝黙禱
- 一、社長年頭の辭
- 一、聖壽萬歲奉唱(社長發聲)並に同盟通信社萬歲(島山常務發聲)三唱
- 一、乾盃
- 一、閉會

最善の工夫、眞劍の努力

われわれ四千の同志は、それぞれ、そのところを異にし、時を別にして晝夜を分たぬ活躍をしてゐるのであります。その目的は唯一の報道報國の、この國家的使命に燃え、奮闘努力する一途あるのみである。

この戦は正にこれからである。一人一人が何年たつても倒れない頭強な體力を養ふことに十分注意して戴いて、さうして旺盛な氣力をもつて、この戦争を勝ち抜かねばならぬと思ひます。前線の將兵が米英戰の第一線に奮闘努力すると同じやうに、われわれも思想戦の最前線に立つて、國家のため戦ひ、働き、勝ち抜かねばならぬと考へるのであります。

どうか頭強なる體力、旺盛なる氣力を間斷なく貯へながら、われわれの持つこの大使命達成のため最善の工夫と眞劍の努力を進めて戴きたいと思ひます。(一月一日本社新年互禮會に於て)

マカツサル支社長

事務取扱發令
企畫局航空部次長
森 元治郎
マカツサル支社長事務取扱兼務を命ず(十二月二十一日附)

慰問袋謝状にみる 戦ふ同盟人の消息

在北支勇士

萬物荒涼、北支の自然と戦ふ

北支派遣東二九二〇部隊 吉松部隊本部

高見 正道

出征以來久しく御無沙汰致してをります。永い間の學生生活を終へて社會に踏み出したのも東の國に召されて軍籍に入り、入隊約二週間で大陸第一線に、それから早や今年で足かけ四年、その間には随分血の涙の出るやうな悲しいこと、つらいこと、苦しいこともありました。

凡人の悲しさ、喜怒哀樂に月日の経つのも忘れて、お蔭様にて今では陸軍少尉の階級をいただき、どうやら半人前の御奉公をさせていだいてをります。これまで幾度かの作戦で、彈丸の下をくぐり生死の巷に出入してまゐりましたが生來愚鈍の悲しさ、まだ碌々として手柄も樹て得ず、慚愧に堪へませぬ。

さてこの度は眞心こめたる御慰問の品々を數々御惠送に預り、何と御禮申上げてよいやら、ただ感謝と感激あるのみであります。銃後の御不自由なる御生活より細かい温い思ひやりの品々、はるかに故國の方を向いて合掌致すのみであります。

北支の治安は日を逐うて向上しつつあるものとはいへ、事變前の抗日教育の徹底は十年、二十年の

前線生活を續けてゐるところへ、貴女方からの慰問袋を戴き、その日一日中愉快に送りました。中外商業に關係してゐた漫畫家の卵が『流石同盟さんのおなめらは違ふ』とか、何とかいつて早速シロホンを横取りして、今では立派な演奏家になつてゐます。

小生が東亞部にゐた頃は、勿論銀座に編輯局があつた時分です。社内を鼠が横行し、毎週一回鼠取りに大騒ぎをしましたが、支那の鼠は同盟の鼠に輪をかけた大ベラ棒で、夜は勿論晝でも午睡をとつてゐる顔の上から胸腹傳ひに足の先まで縦断する物凄く奴がゐります。この間などは小銃の雷管に噛りつき、あやふく自爆し損つたのがありますが、新しい日比谷の綜合編輯室はそんなことはないでせうね。

目下小生のゐるところは餘り使ひたくない文句だが、これ以上の前線がないといふ最前線、豆腐屋へ四里、酒屋へ三里どころではない、ひなびた、それはひなびた〇〇の河ッぶちです。(直井靜江様 茨川敏子様)

慰問袋から出た 疊の下駄 北支派遣東二九八六 部隊工藤隊 水島三津男 拜啓 向寒の候となりましたが職員會の皆々様にはお變りなく諸事にお元氣で御活躍のことと遙察申上げてをります。 さて本日は新嘗祭のため遙拜式を行ひ部隊長殿の訓話を受け終ると小兵に慰問袋がきてゐると聞き大至急戴きに行きますと職員會の皆様の賜でした。早速戦友達と包をときました。近藤書店のマンガ繪本が一番先に出て、家に還れば

買うてやらねばならぬやうな某が無中で隅へ行つて讀む。笛、疊の下駄——下駄は慰問袋で時々戦友のところへも來ますが、疊の下駄は始めてです。コーヒーが出れば誰か砂糖を見付けに行く。みんな、どれもこれも小兵達を喜ばせて下さいました。小兵には眞實が懐しく感ぜられました。又社長殿以下の方々の手跡の御手紙、眞に感謝してをります。内地も戦地以上何物かがあることと思つてをります。また色々物資の不足などで不便をなされてゐる中で、小兵にまで、このやうな御慰問を賜はり、厚く御禮申上げます。 大東亞戦争も日に擴大しつつ、また戦果も日にあがりつつありますが、大同盟の責務はますます重大さを加へ、職員會皆々様の御勞苦も並み大抵ではないと信じてをります。(中略) 職員會の皆々様、どうぞ御自愛專一に祈上げます。敬具 (職員會宛) 誓つて 期待に副はん 北支派遣東三三八九 部隊 阿部 光郎 嚴寒身にしみて圍爐裏戀しき候となりました。職員會の皆様お變りありませんか。慌しい世界情勢と取組んでそれぞれお元氣で、報章を戦つてをられることと思ひますが、小生も北支の前線にあつて元氣で御奉公致してをります。 さてこの度は嬉しい慰問袋を戴き何とお禮を申してよいやら本當に感謝に堪へません。戦線にある身とはいへ、何もなすことなく皆様の慰問に却つて赤面する次第です。大東亞戦争も近く一周年が廻つて

軍務に精勵

北支派遣甲第一四一〇 部隊秋好隊 玉井 靖

向寒の砌り皆々様には御壯健にて御活躍の由大慶至極に存じます。降つて私も相變らず元氣旺盛にて軍務に精勵致し居りますから御安心下さい。さて本日は皆々様の誠心籠る慰問袋に接し、小生らごとき戦地とは申せ、縁の下の力持ち的任事での手柄もなきものに對してまでお心遣ひ、何と御禮を申してよいやら、ただただ感激のほかありません。

戦友吃驚

中支派遣第七三三〇 部隊松村隊 山出 實

御便りありがたう。又慰問の品々、内地の現状からして皆様の眞心、唯々感謝致しをります。殺伐なる陣營の一隅に様々の飾物、戦友達が「何だ、山出のところだけ早やお正月か」と大吃驚。 日比谷公園の紅葉(見つかれば大變でせう)ありがたう。東京を語るよい材料、久しぶりで〇〇ツ子の戦友と在京時代の話に一夜を明しました。

遠山さんを始めわが同盟の諸氏中々張切つて居られる由、自分は本年初めの負傷に生れ變り、再び前線で働きををります。またお暇のある時、懐しい同盟のこと、東亞部の様子、東京の近況お知らせ下さい。(遠山きよ子様宛)

在中支勇士

總前衛の編輯よ 離れて

中支派遣第九〇一八 部隊中村隊 松邑 誠實

拜啓 初冬の候、同盟の皆様にはますます御健勝にて非常時局下通信報國に一路邁進してをられる由慶賀至極に存じます。 扱て今般は社の職員の皆様から御叮嚀にも立派な慰問袋を御送り下さいました。厚く御禮申上げました。 松邑は約一ヶ年の間「總前衛」の編輯に當り、昔の生活に歸つたやうな喜びを感じつつありましたが、今度原隊復帰しました。元氣で軍務に服務中です。皆様の御健闘を祈つて筆を擱きます。御禮迄 (十一月十七日附、古野伊之助様 他職員御一同様宛)

在滿勇士

早くも六年 北滿の一角より 舊職場を慕ふ

満洲八七一部隊村上隊長 松本 金吉

職員會の皆様、本日はお心づくしの慰問品をお送りいただき有難うございました。小半日を兵隊さんとともに楽しみました。自分の隊では内規として個人宛の慰問袋でも一人で楽しむことを禁じてをりますので、戴いたものはすぐその場で開きます。

その半分が本人に、あと半分は適當に分配されます。女名前のものは特に人気がよく、この點、天下の同盟も兵隊さんにとつては一人のおばあさんにおよばず、ために皆様の慰問袋は餘り荒れず済みました。しかしただ、えん子さんと、淑子さんの慰問文は餘りによい匂がしたため、みんなに嗅ぎ廻はされ、苦茶々々になつた末、私の手許に返されました。

御覽になつた方もあると思ひますが、關東軍報道班でとりました「雪と兵隊」といふ映畫の、あの一場面を御想像下されば、この場の光景がよくお解りになることと思ひます。軍服を着て、かういふところにまゐりますと、不惑の四十男も大きな子供になります。寔に他愛がありません。

皆様お心づくしの品で私一人ではなく、同室の一同をこんなに喜ばせて下さいました。私のお禮の言葉は多數の聲であります。十一月も既に半を過ぎましたこととて、内地も日一日とお寒いこととは存じますが、こちらは早くも本格的な冬の寒さに這入りかけてをります。昨今の平均気温は零下十四、五度、氷は九月末から張つてをります。今年の初雪は十月十二、三日だつたと記憶してをります。

雨は十月中旬で終りました。これから降る雪は來年三月雪解けが來るまでは消えませんが、河も程なく凍結致しませう。しかしこれからが満洲の一番満洲らしい時です。われわれも、これからのよいよお得意の冬季訓練にはいります。

アリュニシヤンに陸軍が上陸しましたので關東軍も一寸頭を押へられた形ですが、何といつても雪にとざされた満洲の舞臺こそはわれわれの獨壇場です。犬が雪をみて張り切るやうに、兵隊さんも馬も寒波襲來と同時に張切つてまゐります。

わが關東軍の健兒は日夜防衛に訓練に、いささかも遺憾の點はありません。どうぞ御安心下さい。地味ではありますが、北の護りはどんな敵が來ようとも、決して微動だに致すものではありません。南に赫々の戰果擧がる毎に、北の將兵は腕を撫してむつむつしてをります。

殊に大東亞戰が始まつて以來の訓練は實に猛烈を極めたもので、ために尊い犠牲者も尠からず出してをります。大命を拜し、社を離れましてより早くも六年の月日が流れました不幸戦運に恵まれず、ボサボサしてをりますが、お蔭をもちまして未だ一度も軍醫さんのお世話にもなりません。極めて健康で、およばずながら微力を盡して御奉公致してをりますから何卒御安心願ひ上げます。

平素は努めて同盟を忘れるやう心がけてをりますが、お懐しい皆様の御筆跡や御消息をうかがふ度に内地戀しく、編輯局内の寫眞など拜見致しますと、尙更一日も早く皆様のお仲間入りがしたいと思ふ気持ちでいつぱいになります。特に昨年夏、運動部の菅沼君が同じ林日の〇〇部隊に來られてからといふものは、逢へば必ずどちらからともなく、つひ同盟の噂を持出しますので、この氣持ちは一層です。

お知らせしたいこと、お話し上げたいことは色々ありますが、近頃はおわれわれの日常生活のことまで一切合財が防諜に觸れますので洵に残念ではあります。こんな極めて抽象的な取止めのないことより申上げられませんか。悪しからずお許し願ひます。

向寒の砌、御自愛專一に御活躍の程遙かに祈上げます。右取敢へず御禮まで(十一月十九日附、職員會宛)

松本大尉と

同盟の噂話

満洲第二七八部隊

菅沼 俊哉

拜啓 その後は全く御無沙汰致しました。職員會の皆様には御元氣のことと存じます。小生もお蔭様でますます元氣に南の戦果を羨みながら、北で頑張つてをります。

過日は誠に結構なる慰問品を有難うございました。厚く御禮申し上げます。久振りに東京の香りを満喫した気分になりました。社も大東亞戰以來ますます御多忙なことと存じます。日比谷へ移轉せられてから編輯室も大分廣くなつたそうですが、丁度當地にをられる松本大尉殿と逢へば、色んな想像をして同盟の噂ばかりをしてをります。先は御禮まで。草々(十二月十四日附、職員會宛)

ベーチカ圍んで 歡聲擧る

満洲第二七八部隊

西郡 敬一

謹啓 時下初冬の候と相成申候職員御一同には益々御健祥の段奉賀候扱て本日は誠に結構なる慰問の品々御送附被下有難く感謝致候戦友一同と氣持よく燃ゆるベーチカの圍りで、一つ一つの品に童のごとく歡聲を擧げ喜びし次第に御座候當地も漸く本格的寒さに相成候へども冬將軍も何のその、北に備へて練磨の目的に精進仕居候へば他事乍ら御休心被下度候

略筆乍ら御禮迄 敬具 (職員會宛)

東滿の邊疆で 祖國を偲ぶ

満洲軍徳第五八〇八部隊

高島 正太郎

職員會の皆様、此の度は溜い慰問の品々を、この邊疆の地までお届け下さり、ありがたう存じました。唯感謝に涙するのみです。此處、冬の早い東滿洲は既に極寒の色も濃く、荒ぶ吹雪に大地も凍てついてゐます。更けてさえる月光にキラリツ銃剣のきらめく頃は吐く息も白く凍る寒さです。だが北の護りも既に一年半、嘯く木枯にも馴染んだ今は、雪に叫ぶハバロフスク風にも何故か一種の親しみ(?)を覺ゆる元氣な明け暮であります。

ランプともあり、ベーチカがあかあかと燃えさかれば、爐邊に集ふ戦友のヒゲヅラ宛ら〇〇の宴げに

高吟するがごとき頭丈さ。慰問の品を中心に噂は祖國に飛んで、極寒の夜に時ならぬ語らひの花が咲く和やかな團樂で、ここばかりは冷い雪も、烈しい風もない、ただ若さの醗す發刺たる元氣さがあるばかり。

かうしたゆとりの中に、北を護る者の強靱な魂が培はれてゆくのであります。向寒の折世界歴史を引きつづけてゆく職員會の皆様、どうぞ一層の活躍をお願ひ致しますとともに健康を更に祈つてやみません。(庶務部宛)

同盟人の姿

満洲國〇〇 満洲第七一八部隊

長田 政次郎

社の皆様方、時局柄さぞかしお忙しいことと存じます。今同現地偵察のため國通へ出向中の中田寫眞部長が關東軍報道部齋藤少佐以下一行二十名とともに當地に參られましたので命により私が御案内の役をつとめさせていただきました。左掲の寫眞は正に結びかふざわめき、或は寒い星月夜にきこえる狼の遠吠えなどが私達の單調な男はかりの生活に、いささかながら興趣をそへて呉れるといつた風情でございます。

輝かしい大東亞戰争勃發一周年記念日を迎へるにあたり、戦歿英靈に感謝の黙禱を捧げるとともに遙かに皆様方の御健勝をお祈り致します(十月三十日附)



